衆議院 小選挙区選出議員選挙 選挙公報

宮崎県第１区
平成26年12月14日執行
宮崎県選挙管理委員会

たけい 俊輔（しゅんすけ）

自民党公認

新しい日本、宮崎から。

39歳

景気回復、この道しかない。

地方（宮崎）があって、都市（東京）がある。地方創生の貫徹。

単に一律におカネを配る、などではなく頑張る地方を応援するのが地方創生。官民問わず、宮崎で頑張る多くの皆さんの“仕事しやすい環境づくり”に全力を尽くします。
お互いに敬いあい、支えあう日本を創る。その意識を全国に広げて参ります。

地方（宮崎）の暮らし、地域の社会インフラを守る。

性急な道州制に反対し、特に南海トラフ対策や防災面などからも宮崎河川国道事務所などが確実に維持されるよう取り組みます。漁業、農業、物流などに影響の大きい燃油高騰への確実な対策を図ります。
またJA改革については、自主性を尊重し、中央会、単位農協の活動が法律的に担保されるよう継続して取り組んで参ります。

先送りしない政治、そして歴史に真摯に向き合う国に。

近隣諸外国との関係改善、自衛隊、海上保安庁の組織拡充など喫緊の課題、そして日本史の必修化などの教育制度改革も着実に進めて参ります。その上で、過度にナショナリズムを煽ることのない、人生の先輩方が培ってきたバランス感覚を磨いて参ります。

景気回復に向けて、政策の総動員を。

～国、県、市町村の連携をより一層。～

消費税引き上げの延期期間の中で、確実な景気回復を図ります。県や市町の窓口として可能な限り官庁に同行し、声を届けて参ります。また給与の引き上げに加え、年金生活の皆さまの将来設計が予測できるような対策を進めて参ります。

健やかに、安心して暮らすために。

国民皆保険制度を揺るぎなく堅持し、エボラ出血熱等のグローバル化に伴う感染症の脅威へ対応するための法整備に努めます。
子育てのしやすい環境、高齢者の方が安心して暮らせる社会を作ることで、若者が将来に不安を感じない環境づくりに努めます。
看護や介護を要する高齢者、障がいを抱えた人々を支え、ケアの質向上を図るために引き続き看護・介護人材の処遇改善・研修の充実に努めます。

観光は、日本の基幹産業。

観光振興は外貨を獲得する有用な手段です。観光庁そして党内でも観光の第一人者になるべく、取り組んでおります。本県においても国際線の活性化、クルーズの拡充に加え、高千穂の観光客を県内各地に回遊させる仕組みを構築して参ります。

宮崎生まれ、宮崎育ち	たけい俊輔	主なプロフィール
1975年 宮崎県宮崎市生まれ		2005年 早稲田大学大学院修了
1990年 宮崎市立大塚中学校卒		2007年 宮崎県議会議員当選
1993年 宮崎県立宮崎西高校卒		2011年 自由民主党宮崎県第一選挙区支部長就任
1997年 中央大学文学部史学科卒		2012年 衆議院議員総選挙当選
宮崎交通株式会社 入社		

松本 隆（たかし）

まつもと

53歳

暴走ストップ！政治を変える

5つの転換

消費税10%

税は富裕層と大企業にこそ負担してもらいます。大企業の内部留保285兆円の一部を賃上げなどに生かし、景気回復で税収を増やします。

「先送り」でなくキッパリ中止

「消費税に頼らない別の道」があります

アベノミクス

「格差拡大」の暴走ストップ

くらし第一で経済をたてなおします

アベノミクスで喜んでいるのは大資産家と大企業。庶民は物価が上がり実質賃金は下がって苦しくなるばかりです。
人間らしく働く雇用ルールの確立、社会保障の充実、TPP撤退、中小企業の振興を。

集団的自衛権

若者を戦場に送らない

憲法9条を生かした平和外交を

「二度と戦争はしない」と決めた憲法を、解釈で変更することは許されません。国民の目、耳、口をふさぐ秘密保護法は戦争準備です。廃止しましょう。

沖縄・基地

新基地建設は中止

基地のない平和な島へ

沖縄県民は、知事選挙で翁長雄志さんを圧勝させ、「新基地ノー」の意思を改めて示しました。今度の選挙でも安倍政権に厳しい審判を下しましょう。

原発

川内原発再稼働ストップ

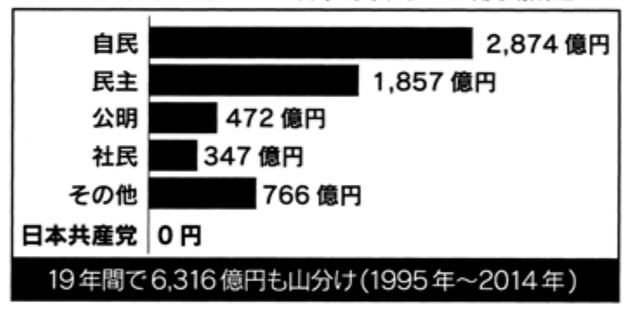
「原発ゼロ」の日本へ

川内原発で事故が起これば、宮崎の被災は避けられません。太陽光など再生可能エネルギーの活用で安全、安心の故郷みやざきをつくりましょう。

巨額の税金を山分け！

国民には増税をおしつけておいて、日本共産党以外の政党が毎年 320 億円もの税金を山分け。しかも使いみちは勝手放題。これではカネに対する感覚が麻痺しても当たり前。こんな「政党助成金」制度は、いますぐ撤廃させましょう。

日本共産党以外の政党が19年間で受けとった政党助成金



19年間で6,316億円も山分け（1995年～2014年）

日本共産党の躍進で、国民の声が生きる政治を！

比例代表選挙は、日本共産党へ

村尾（むらお） ひでとし

民主党

今こそ、流れを変える時。

ぜひ、安倍政治にNO！の一票を。

民主党公認候補の「村尾ひでとし」です。
私は、一人で3人の子供たちを育てる父親です。大学卒業後、仕事でニューヨークに渡り、金融機関や証券会社でキャリアを積みました。ロンドン大学大学院で東アジア政治の修士号を取った後は、日本に戻り、専門学校で政治経済を教えています。訳あって、国際結婚だった妻とは、別の道を歩むことになりましたが、子供たちを育て、一所懸命、人生を歩んできました。いわゆる「シングル・ファーザー」です。
ふと、気づけば51歳。長く私が抱いてきた社会への思いを訴え、世に問いたいという気持ちを抑えることができなくなりました。
私は、安倍政権に強い不安と憤りを感じています。安倍政権がやってきたことを思い出してください。特定秘密保護法で強行採決を繰り返し、集団的自衛権問題でも国民の多数が反対しているにも関わらず、閣議決定による解釈変更を強行。乱暴な政権の本質が明らかになりました。

新エネルギー政策の転換や、「働く」という尊い行為を単なる「労働力」としてしか考えない労働者派遣法に象徴される労働保護法制に対する動きも然り。安倍政権は、国民の思いをくみ取ろうとする姿勢に、根本的に欠けています。

あなたの心は、ざわついていませんか？

安倍政権に「不安」、「不満」、「不信」を抱えていませんか？

今こそ、流れを変える時です。

未来世代の父親として、人生を大切に歩もうとする一人の市民として、そしてみなさんの声を受け止める代弁者として、私は一念発起します。
あなたの生活に寄り添い、一所懸命に生きる国民の気持ちを大切にする。そんな政治を取り戻すために、一緒に立ち上がりましょう！

アベノミクスからの転換。「厚く、豊かな中間層」を復活させる

雇用をつくり、所得を増やし、暮らしを安定させます。日本の社会を支える中間層を厚く、豊かにして、格差を是正します。

01 経済 「国民生活に十分留意した柔軟な金融政策」。「生活不安を希望に変える人への投資」。「未来につながる成長戦略」。これが経済対策の3本柱です。未来への責任を果たすため財政健全化を進めます。

一人ひとりを尊重し、共に生きる社会をつくる

安心して学び、働き、多様性を認めつつ支え合う社会、女性も男性も能力を発揮でき、すべての人に居場所と出番がある社会をつくります。そのために「人への投資」を積極的に行います。

02 社会保障 少子高齢化・人口減少、非正規雇用の増加等に対応し、社会保障制度への信頼を回復します。

03 雇用 働く者の立場に立ち、雇用の質を高めます。労働法制の改悪を阻止し、雇用の安定を確保。誰もが心身ともに健康に働ける環境を整備します。

04 教育 教育の質を高め、誰でも学べる社会をつくります。義務教育の35人以下学級を堅持するとともに、所得制限のない高校授業料無償化、返済の必要のない「給付型奨学金」の創設を目指します。

05 女性・共生 男女共同参画を進めます。多様性を認める社会をつくります。男女間の待遇格差を是正し、ひとり親家庭への支援を強化します。

地域の声に耳を傾け、ふるさと再生

住民の不安を取り除き、ふるさとの雇用を創出し、持続的成長を実現します。大震災からの復興と原子力発電所事故からの再生なくして日本の再生はありません。

06 震災復興 被災者に寄り添って、震災復興、原発事故被災地の再生をやり遂げます。

07 原発・エネルギー 2030年代原発ゼロに向け、あらゆる政策資源を投入します。

08 食の安全・安心 食の安全・安心を守り、国内農業を復活します。米価急落で危機に瀕する国産米を安定させ、安全な食を守るため、農業者戸別所得補償制度を法制化します。TPPには徹底した情報公開を求め、脱退も辞さない厳しい姿勢で臨みます。

専守防衛と平和主義を堅持する

国民の生命財産、我が国の領土、領海、領空を守ります。集団的自衛権の行使を容認した閣議決定は立憲主義に反するため、撤回を求めます。

09 外交・防衛 責任ある防衛、戦略的な外交を推進します。アジアの安全保障環境が変化する中、近隣諸国との信頼醸成と関係改善を進め、戦略的な外交の展開を図ります。

身を切る改革を断行する

10 身を切る改革 国民との約束を守り、政治への信頼を回復します。議員定数の削減、一票の較差是正を進めます。

村尾ひでとし選挙事務所 〒880-0806 宮崎市広島2-4-9 OMCビル1F TEL.0985-62-0536 FAX.0985-28-9466

外山（とやま） イッキ

38歳

笑顔のために！子どもたちの

- 子育て世界一へ。女性の社会進出を促進。
- 地方分権の推進！
- 「原発ゼロ社会」・「エネルギー最先端都市」の実現！
- 国会議員歳費の三割カット、議員定数の三割削減。
- 「同一労働・同一賃金」推進法案の制定。
- 福祉政策の充実で生活の「不安」を解消！

ホームページ www.izki-toyama.com/

比例代表は維新の党

◇プロフィール◇

★1976年4月生まれ。宮崎県日南市出身。幼少期は宮崎市赤江で育つ。英国立エセックス大学社会学部中退。

★参議院議員秘書を経て、2007年に参議院宮崎選挙区で全国最年少当選。参院予算委員会委員、沖縄・北方特別委員会理事、参院国対副委員長などを歴任。

★与党時代は、陳情要請対応本部の副本部長を務め宮崎をはじめ九州各県の予算獲得に尽力。

★2012年、消費税増税に反対し参議院議員を辞職し、衆院宮崎1区に挑むも落選。現在は東南アジアとの交流や各地での講演活動を行いながら政治活動を続ける。

★高祖叔父は初代連合艦隊司令長官・伊東祐亨海軍元帥。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。（掲載順序は、抽選により決定しています。）